

個人の部



安田 愛梨 さん (兵庫県・6年生)



「お父さんといっしょに食べたとうもろこし」

私の夏の思い出といえば、小さい時からお父さんに何回も連れていってもらったとうもろこし狩りです。初めてもぎ取ったとうもろこしを食べた時の、甘さと、みずみずしさが忘れられなくて、とうもろこしを題材にした作品をつくろうと思いました。

特に工夫したところや、難しかったところは、とうもろこし、一粒一粒、それぞれ少しずつ違う色で、みずみずしさや甘さなどを表現したことです。

それと、とうもろこしのひげは、紙ひもで一本一本少しずつ角度を変えてとうもろこしのふわっとしたひげの感じをだしたり下の部分を茶色くして、より本物のとうもろこしに近づけていったことです。6年生で初めて応募した作品が最優秀賞に選ばれて、びっくりしたのと同時にうれしさもこみあげてきました。

選んでいただいて本当にありがとうございます。



最優秀賞を受賞した安田 愛梨さん



1年生



『わたしのあさがおさいたよ』  
上田 衣琉 さん (広島県)

2年生



『プールのあとのメロンあじのかきごおり』  
杉本 妃真里 さん (愛媛県)

3年生



『まっかな太陽』  
中元 朝輝 さん (兵庫県)

4年生



『初めて見た神楽』  
山根 采実 さん (福岡県)

5年生



『屋台で目があった』  
加古 瑠莉那 さん (茨城県)

6年生



『桃狩り』  
宮崎 陽多 さん (埼玉県)

第19回 手づくり絵はがきコンクール 受賞者発表

テーマ 「夏の思い出」

たくさんのご応募ありがとうございました  
日本全国の小学生から3,352作品の応募がありました!

夏の思い出と、リサイクルの体験を忘れずに。

「手づくり絵はがきコンクール」は、牛乳パックなどの一度使った紙をリサイクルして紙をつくり、その紙をはがきにして「夏の思い出」を描くコンクールです。子どもたちに紙への関心を高めてもらうとともに、紙のリサイクルについて身をもって体験してもらうことを目的に、日本製紙連合会がこれまで19回にわたって開催してきました。リサイクルした紙がはがきに生まれ変わる驚きと、1枚の絵はがきに仕上げた達成感が、ひと夏の思い出とともに、いつまでも子どもたちの心に残ってくれることを願っています。

団体の部



山のアトリエ子供造形絵画教室 (兵庫県)

今まで教室では和紙を染めたりはしましたが、手づくり絵はがきコンクールには初めて出展させて頂きました。ほとんどのコンクールは四つ切りサイズの画用紙が多く、子供達がこの小さなハガキサイズの用紙にどれだけ想いを込めてくれるだろうと心配していたのですが、アイデアが豊富で想像していたよりも細かなところまで拘ってくれた作品が多く私も感動致しました。やはり紙から自分でイメージし、自由に作れるという工程があったからこそ発想が豊かになり、上に描く絵を想像しながら色や透け感、異素材との組み合わせなどオリジナルの紙に仕上げてくれていました。描く絵にもコラージュやスパッタリングなど技法を用いたり、絵の具やクレパスなど数種類の画材を組み合わせ、それぞれが個性豊かに作品を完成してくれたことを嬉しく思います。このような機会を与えて頂き、大賞に選んで頂きましたことを日本製紙連合会の皆様に心より感謝致します。本当にありがとうございました。



山のアトリエ子供造形絵画教室の皆さん。表彰式では記念撮影も。